

トライアングルエヒメ横展開補助金 対象事業概要

農林水産

補助率 1/2

※補助金額の上限がございますので
詳細はお問い合わせください

採択事業名

柑橘・サトイモ産地での土壌水分モニタリングによる収益向上

社名

株式会社インターネットイニシアティブ

本社所在地

東京都千代田区富士見2-10-2
飯田橋グラン・ブルーム

担当者名

堀井 貴博

担当者連絡先

03-5205-6765
agri-sales@iij.ad.jp

実装検証の概要

IoTが「勘」をデータ化。稼げる農業を推進

省電力かつ広域通信が可能な無線通信規格「LoRaWAN®」を活用し、愛媛県の主要産品である柑橘とサトイモの「高品質・高収益化」に向けた農業IoTの実装検証を推進。園地に設置したセンサーから**土壌水分量や気象データをリアルタイムで収集・可視化**し、**ベテラン農家の「勘と経験」をデジタル化**。「HAPP」と連携した中晩柑栽培では、品質に直結する水分ストレス管理の最適値を導き出します。また、サトイモ栽培では点滴灌水技術と連動した精密な管理を継続し、収量増を実現。通信インフラからデータ分析までを一貫して提供し、労働負荷の軽減と産地競争力の強化を支援します。

WEBサイト



実装検証の成果

データが「裏年」を打破。持続可能な高収益農業へ

LoRaWAN®ネットワークを軸に、愛媛の農業をデータ駆動型へ進化させました。真穴みかん園(面積240ha)では120台のセンサーで灌水管理を最適化した結果、収穫量が落ちる「裏年」にも関わらず前年比での収益増を達成し、**出荷額の高位安定化を実現**。松山市北条地区では、中晩柑の品質向上に向け、日射量や温湿度を含む多角的なセンサー網を構築しました。サトイモやレモンへも展開し、品目を越えたスマート農業モデルを確立しています。特筆すべきは若手農家の意識変革です。データに基づく勉強会が活性化し、**個人の「勘」が地域の「共有知」へ転換**。高収益かつ持続可能な農業DXの基盤を強固なものにしました。

補助金の対象物

[初期]

- 土壌水分センサー導入パッケージ
- データ分析費(ワークショップ)
- 構築費用(電波調査)
- オプション①:土壌水分センサー拡張パック(10台)
- オプション②:気象センサーパック(温湿度、雨量、日射)

[月額]

- LoRaWAN®サービス利用料
- 標準運用管理サポート

こんな方におすすめ

- 灌水管理を必要とする作物を栽培している(ユースケース拡大中)
- 灌水量、灌水タイミングに悩んでおり、土壌水分管理に興味がある
- 各園地の環境データを面的に取得し、営農計画に生かしたい



補助金対象物の詳細・導入費用概算

初期費用(税別)

項目	単価	数量	費用
土壌水分センサー導入パッケージ(20台)	¥1,350,000	1	¥1,350,000
構築費用(置局設計含む)	¥1,000,000	1	¥1,000,000
データ分析費(ワークショップ)	¥1,000,000	1	¥1,000,000
計			¥3,350,000

オプション/初期費用(税別)

項目	単価	数量	費用
オプション①:土壌水分センサー拡張パック(10台)	¥594,000	1	¥594,000
オプション②:気象センサーパック(温湿度、雨量、日射)	¥480,000	1	¥480,000

月額費用(税別)

項目	単価/月	数量	費用
LoRaWAN®サービス利用料(※)	¥1,808	1	¥1,808
標準運用管理サポート	¥31,900	1	¥31,900
計			¥33,708

※基地局1台、センサー総数50台以下の場合の料金となります。基地局台数やセンサー総数などにより変動します。
※基地局1台でカバーできる範囲は、一般的に半径2km~数kmですが、地形や見通しにより変動します。
※金額は条件等により異なりますので、詳細につきましてはお問い合わせください。

(参考)本補助金のほか利用可能な補助金

- 補助金名/農業生産基盤情報通信環境整備事業(農林水産省)
[補助率] 国:定額、1/2等 ※重複利用不可

注記

本募集は、愛媛県の令和7年度2月補正予算の成立及び国の地域未来交付金(地域未来推進型)の交付決定を経て実施するため、事業の中止や内容の変更が生じる場合もあるのでご注意ください。

愛媛県デジタルシフト推進課
TEL 089-912-2280



最新情報は
こちらから